

学生および保護者の方へ

## 2021年度前期 対面・遠隔授業に関するアンケート結果を受けての本学の取組み

大同大学 学長 神保睦子

2021年度の前期は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の抑止に尽力しながらも、学生の皆さんにキャンパスで学生らしい時間を過ごしていただくことに重きを置き、1年次科目は教養の選択科目を除いて原則対面方式にて、2年次以上については、座学科目を原則遠隔方式、実験実習科目は原則対面方式で授業を実施しました。東京オリンピックが閉幕を迎えた頃、再び感染急拡大による緊急事態宣言の発出もあり、期中において授業実施方法が変更される科目が発生するなど、皆さんに大変なご負担をおかけしましたこととお詫びすると共に授業運営にご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

本学では、併用式授業および遠隔授業の課題と成果を把握すること、またこの先にあるアフターコロナでの授業の在り方について継続して検討するために、以下の期間において前期の遠隔授業等に関するアンケート調査を実施しました。

【専任教員 非常勤講師】 アンケート回答期間 8/5（木）～8/10（火）

【学 生】 アンケート回答期間： 8/5（木）～8/10（火）

本学では、今回のアンケート調査の結果を真摯に受け止め、授業の改善に加えて、大学として何ができるかを継続して検討して参ります。以下に、前期のアンケート結果のまとめをお伝えします。

### 1. 遠隔授業運営について

昨年度のアンケート結果から、「遠隔授業におけるICTツールの統一」に関する要望が多かったことを受け、本学では、授業担当教員に対してteamsへの統一を推奨して参りました。その結果、以下のとおり、teamsでの授業運営が92%と大幅に改善されました。

<遠隔授業に主に用いたICTツール>

教務システムの 授業課題提示機能	teams	Teams以外のICT ツール（Zoom等）	その他
4%	92%	2%	2%

また、これまでのアンケートでは、遠隔授業における課題提出状況の確認について不安に感じるといった意見が多くみられたことから、本学では、課題等提出状況の開示、学生からの質疑応答に対する対応についても、授業担当教員をお願いしてきました。その結果、こちらについても以下のとおり改善が進みました。

<遠隔授業における学生の課題等の提出状況の確認>

随時開示した	確認があった際、開示した	開示しなかった
64%	29%	7%

< 学生からの質疑応答状況 >

随時対応した	遅れもあるが対応した	対応しなかった	質問がなかった
74%	25%	0%	1%

しかしながら、わずかではありますが課題等の提出状況について開示がされなかった授業があることを重く受け止め、学生の皆さんの不安を解消すべく、引き続き課題提出の状況開示が本学において標準化されるよう、改善を進めてまいります。

新型コロナウイルスの影響で否応なしに遠隔授業という形式で授業を運営せざるを得なくなって1年以上が経過し、学生の皆さんの授業運営に対するご協力と、皆さんから寄せられたご意見を真摯に受け止め、改善や工夫を進めていただいた先生方の努力によって、本学の遠隔授業は、ある程度安定して運営できる状況になってきました。この1年半の間で遠隔授業の良い面も悪い面も出てきました。今後は、アフターコロナでの授業運営を踏まえて、これまで以上に ICT ツールを活用できるよう学内 Wi-Fi 環境の拡充をはじめとした教育環境の整備を進め、ICT を活用したデジタル（オンライン）とフィジカル（対面・実地）の長所を融合し、より質の高い学びを皆さんにご提供できるよう、教授法の改善、授業改革に努めて参ります。

## 2. キャリア支援について

### ①就職活動を行っている学部4年生・大学院2年生

「就職活動において不安になったことはありますか」という前年度前期と同様の設問に対し、図1のように就職活動に不安があると回答した学生の割合は前年同時期比で7.7ポイント低下しました（回答 a+b : 71.7% → 64.0%）。しかしながら、依然として高い値を示しており、コロナ禍での就職活動に対して不安を抱く学生が多いことが伺えます。その主な要因は、オンラインによる就職活動や企業の採用意欲の低減による求人数の減少、まわりの状況（友人の状況、企業の採用活動の状況等）がわからない、また自分が感染症に罹患して就職活動が出来なくなるのではないかという意見がありました。

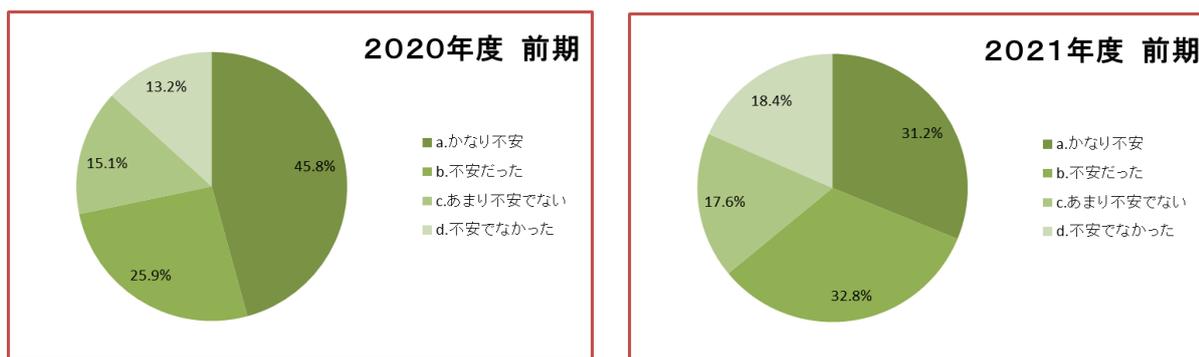


図1 「就職活動において不安になったことはありますか」の設問に対する回答結果（学部4年生・大学院2年生集計）

## ② 学部3年生・大学院1年生の就職ガイダンスについて

昨年度前期と同様の「就職ガイダンスを遠隔で実施しましたが、いかがでしたか？」という設問に対し、図2のようにガイダンスに肯定的な学生の割合が7.9ポイント増加しました（回答 a+b 32.2%→38.9%）。今年度は、昨年度の経験を活かし、早期から予定どおりガイダンスが実施できたことが一因であると考えています。

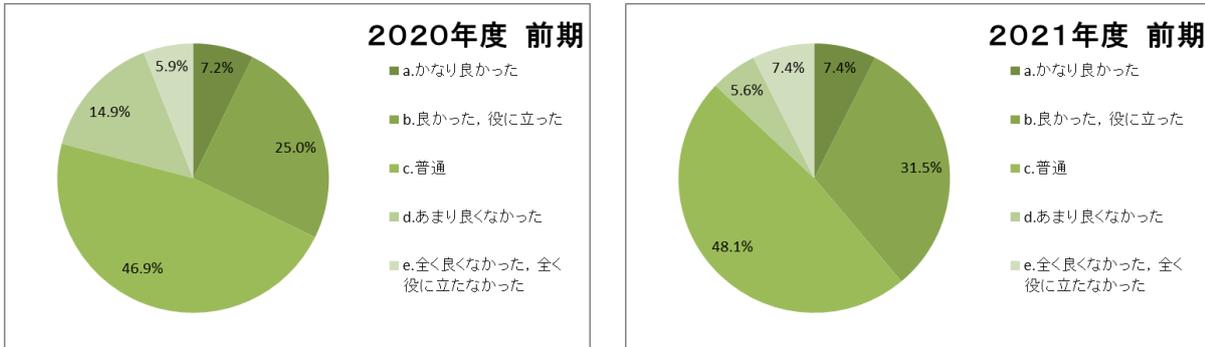


図2 「就職ガイダンスを遠隔で実施しましたがいかがでしたか」の設問に対する回答結果（学部3年生・大学院1年生集計）

2020年度の本学の就職率はコロナ前と比べて低下しました。もちろん、コロナによる一部業界の採用意欲の低下もありますが、本学では、それ以上にこの結果を重く受け止めております。依然としてコロナ禍における厳しい就職環境の中で、状況を改善していくために、低学年時からの学生指導の見直しと充実を図り、就職活動におけるテクニックを強化するのではなく、人生設計（キャリアプラン）を早期から考えるよう意識づけると共に、学生に対して最新の就職情報をリアルタイムに届ける仕組みの構築に努めて参ります。

### 3. 部活動、委員会活動、その他課外活動の制限について

再び緊急事態宣言が発出される状況下において、課外活動が制限される中、その活動方法については、各団体が感染防止の観点から teams によるミーティングの実施、活動場所の変更など、それぞれに工夫をしてくださるいただき、改めて感謝いたします。私たちは、学生の皆さんの健康を第一に考え、国や愛知県の新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインに基づき、課外活動の制限内容を検討・決定してきました。皆さんの学生生活をより充実したものにするためには、部活動や委員会活動をはじめとする課外活動が、欠かすことのできないものであると考えています。今後も大学としては、コロナ禍でも出来ること、出来るやり方を検討し、with コロナの考えのもとで進めて参ります。

また、皆さんに不自由な学生生活をお願いしている中で、困ったことや不安に感じるなど皆さんが抱える悩みについては、個別に対応していきたいと考えています。少しでも不安に感じるなどがあれば、学生室や保健室、学生相談室に相談してください。

### 4. まとめ

2021年度前期は対面授業と遠隔授業を併用したハイブリッド形態で授業を実施してきましたが、途中、感染の急速な拡大により、授業方法に変更が生じるなど、学生の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。また、学生の皆さんには今も制限のある中でキャンパス生活をお願いしている状況であり、学生のみなさんの努力と協力のうえに、この困難な状況下において授業が成り立っていると感じています。大学としては、このコロナ禍においても、最大限の努力をして、学生の皆さんに少しでも大学生として充実した日々を過ごしていただけるよう、今後も改善に努めていきます。